


整理番号	HT26190	分野	生活・医歯薬学	(キーワード)ストレス
------	---------	----	---------	-------------

## 大阪府立大学

### はかってみよう！ 唾液でわかるストレスレベル

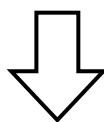
先生(代表者)	三宅 孝昭(みやけ たかあき) 地域連携研究機構・准教授			
自己紹介	専門は健康教育学です。子ども達が健康な生活を送ることができるよう、調査や測定を通して、健康やからだに関する問題に、取り組んでいます。学生時代はキャンプリーダーをしており、現在も学生とともに子どものキャンプを開催しています。			
開催日時・ 主な募集対象	平成26年10月26日(日)	(対象)	中学生 高校生	(人数) 24名
集合場所・時間	大阪府立大学中百舌鳥キャンパス B3棟427 (集合時間) 9時20分			
開催会場 (集合場所)	大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B3棟4階 427実験室 住所: 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 アクセスマップ: <a href="http://www.osakafu-u.ac.jp/access/index.html">http://www.osakafu-u.ac.jp/access/index.html</a>			
<b>内 容</b>				
<p>自分の唾液から、s-IgA(免疫グロブリン A)というたんぱく質の濃度を調べることにより、ストレスを測定します。測定は、ピペットという器具を用いて唾液にいくつかの薬品を入れて分析(写真)していきますが、大学生がみなさんのお手伝いをします。</p> <p>みなさんには、前日と当日起床直後の唾液を冷凍し、持ってきてもらいます。(唾液採取の説明や用具は事前に送ります。)当日の唾液も一緒に分析します。分析には、唾液に薬品を入れた後、反応する時間がかかるので、その間に、s-IgA や研究成果の話をしたり、休憩や昼食(大学で用意し、学生と一緒に)をとったりします。</p> <p>これまでの研究で、s-IgA は1日の中で変化することがわかってきました。さて、どのように変化するのでしょうか。唾液中の s-IgA を分析して、自分のストレスの1日の変化を調べてみましょう。</p>				
<b>スケジュール</b>				<b>持 ち 物</b>
9:15 ~ 9:30	受付(B3 棟 427 実験室集合)、唾液採取			ご自宅にて、前日と当日朝の唾液を採取し、冷凍保存した後、保冷バックに入れ持参してください。
9:30 ~ 10:00	開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)			
10:00~10:30	実験の概要、分析器具の使い方の説明			<b>特 記 事 項</b>
10:30~13:00	唾液の分析①・途中で休憩はさむ (解凍、遠心分離、サンプル希釈分注など)			
13:00~14:00	昼食(大学のことなど聞いて下さい)、休憩			ご自宅での唾液採取に関する用具(採取用具、保冷剤、保冷バック等)及び採取方法説明書は、事前に送付します。
14:00~14:10	唾液の分析②(薬品分注)			
14:10~15:00	講義(s-IgA、研究成果など)			
15:00~15:30	唾液の分析③(発色液、反応停止液注入)			
15:30~16:30	データ分析、グラフ作成、まとめ			
16:30~17:00	修了式(アンケート記入、未来博士号授与)			
17:00	終了・解散			

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	大阪府立大学 地域連携研究機構 産学官連携室 ・ 若松 宮子
住所：	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
TEL 番号：	072-254-9686
FAX 番号：	
E-mail：	
申込締切日：	平成26年10月10日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
三宅 孝昭	H19-21	基盤研究(C)	19500581	幼児の生活習慣とストレスの関連性に関する研究
三宅 孝昭	H23-25	基盤研究(C)	23601018	幼児の s-IgA 及び体温からみた生活習慣改善効果の検討



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。